

高松大学 高松大学大学院 高松短期大学 認定こども園高松東幼稚園

2023. 6



新入生を歓迎！ 学外セミナー

4月下旬、学部・学科ごとに、新入生・在学生・教員の相互交流を図り、親睦を深めることなどを目的として、セミナーを実施した。コロナ禍で制限されていた活動も緩和され、今年は4年ぶりに県外での実施も再開となった。

発達科学部は、2年生の新

歓実行委員が半年かけて企画・運営を行っており、1日目は、体育施設で運動会を楽しんだ。2日目は、うずしお観潮や淡路の自然の中でのバーベキューを楽しみ、先輩や同級生、先生との親睦を深めた。

経営学部は、コミュニケーションの円滑化を目的に、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンを訪れ、仲間との絆づくりの第一歩を踏み出した。



と秘書科は1・2年生全員が参加し、それぞれユニバーサル・スタジオ・ジャパンを訪れた。

保育学科では、今後の保育実践活動や授業に生かせるよう「保育者の目線」を意識しながら学生間の交流を楽しんだ。

秘書科では、笑顔と感動につながるサービスを体験し、ビジネスに必要な能力や技能について理解を深めた。また、6月下旬には、やしまーるや屋島寺宝物館などで、屋島の歴史や文化を学ぶセミナーも予定している。

天候にも恵まれ、各学部・学科とも充実したセミナーとなった。

高松大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による令和4年度大学機関別認証評価を受審し、令和5年3月14日付で同機構の定める大学評価基準に適合していると認定されました。

今回の認証評価で助言いただいた改善点と真摯に向き合うのほもちろんのこと、自ら定めた改善・向上方策（将来計画）を着実に実行することで、今後も教育研究活動の質の維持・向上に努めてまいります。

高松大学 認証評価で適合認定



2023 OPEN CAMPUS

第3回 6/24 ±	第4回 7/22 ±
第5回 8/19 ±	第6回 9/16 ±

参加方法 事前申込制・無料送迎バスあり
お問い合わせ先 入学センター ☎ 0120-78-5920
※プログラムの詳細は、本学ホームページをご確認ください。

発達科学部 子ども発達学科

私のなりたいもの



発達科学部子ども発達学科1年 三好 優芽
私は子どもたちの心に寄り添える保育者になりたい。そのためには、まず自分が子どもの頃の気持ちを忘れないことが大切だと思う。そして、喜怒哀楽を沢山表現してくれる子どもたちからのメッセージを、見逃すことなく受け取り、その思いに寄り添いながら一緒に成長できるように保育者を目指したい。

2年生から始まる保育実習では、特に子どもたちとの関わり方を学びたい。見たり、聞いたりするだけでなく、自分を実践することでしか学べないことも含め、どんどん吸収していきたい。また、保護者との上手な付き合い方も身につけ、子どもが安心して通える環境創りについて学びたい。本学で学ぶ4年間を通して、「寄り添う」ことの意義やその在り方についての認識を深め、保育ボランティアなど何事にも積極的にチャレンジし、自分の魅力を最大限発揮できるように努めていきたい。

入学前の不安を期待に変える

入学準備セミナー開催

3月28日、入学予定者を対象として「入学準備セミナー」を開催した。このセミナーは、入学後の大学生活の円滑なスタートをサポートすることを目的として、毎年実施している。

主な内容は、卒業生による学生生活や就職活動に関するスピーチ、懇談会で、運営は14名の在学生である。硬い表情で着席していた参加者の表情はアイズブレイクで徐々に和み、終了時には、参加者同士で会話が弾むようになっていた。また、開始直前まで、意欲的にリハーサルを行っていた在学生の笑顔も一段と輝いていた。参加者からは、「先輩方の話や懇談会で不安が和らいだ」「大学生活が楽しみになった」「先生と在学生の雰囲気がよく、楽しかった」という感想が寄せられ、入学前の不安が期待に変わる一日になった。

高松大学

経営学部 経営学科

意義ある4年間をめざして



経営学部経営学科1年 水沼 伊織
私は、自分が本当にしたことを見つけるために、この大学へ入学しました。そのため、新しい学生生活では多くのことにチャレンジし、いろんな事柄に触れていきたいと決意しています。

また、勉学にも精一杯取り組みたいです。高校生の頃は自分なりに勉強法を考え、クラスでもよい成績を取ることができました。大学生になってアルバイトも始まり、今までより勉強に時間を割くことが難しくなるかもしれません。でも、学友達と共に分からない箇所は教えあい、絆を深めつつ、4年間充実した学生生活にしたいです。

何より将来、地域に貢献できる人材になるために、高松大学で知識と経験を蓄え、自らを成熟させていこうと思えます。

「企業調査入門」を受講して



経営学部経営学科2年 高木 咲空
企業調査入門は、実際に企業へ訪問し、現場を見て学ぶ授業です。私たちの学年は、「イオン高松東店」と「株式会社マキタ」へ訪問させて頂きました。

訪問する前に、訪問先の企業について調べのですが、調べてもわからないことが多くありました。企業へ訪問した際に、事前ピックアップした疑問について見聞きすることで、教室の中に居るだけでは得られない気付きを得られ、良い経験になりました。

また、訪問後には調査内容についてプレゼンテーションを行いました。全員が同じ企業について発表資料を作成するため、人によって問題意識が違うこと、説明の重点が異なることなどがわかり、とても勉強になりました。この授業を通して学んだことを、今後の大学生生活でも活かしていきたいです。



探訪/研究室

自己紹介



経営学部 石田 裕明
初めまして。石田裕明です。出身は兵庫県姫路市です。趣味は美味しいものを食べることに、料理をすることです。

専門分野は会計学です。特に企業が開示する財務諸表などを分析する研究を中心に取り組んでいます。

ゼミナールの特徴

財務諸表から企業の経営状況を読み取る力の養成に力を入れています。また、ゼミ生が自主的に取り組みたいことがあれば、それを全力で応援しています。

ゼミ生へ一言

ゼミでは、勉学に励むだけではなく、人を思いやる優しい心を育てたいと思っています。

二十歳の時の自分

一日中、勉強をしていました。もう少し遊んだ方が良かったのかもしれませんが、とにかく学ぶことが楽しかったです。

保育学科

目標の実現に向けて



保育学科1年 大山 悠奈
私は2年後、子どもたちの個性や考えを尊重したり、

子どもの成長を保護者の方と喜び合ったり出来る保育者になりたいと考えています。そのためにも、本学で知識や技術を習得し、実習を通して学んだ事を発揮していきたいです。

また、私は児童虐待防止運動に関心を持っています。保育者とは、『楽しい』ことだけでなく『悲しい』ことにも対峙しなければならぬ職業です。そこで、オレンジリボン運動などの活動に参加し、正しい知識を身に付け、子どもたちの明るい未来に多くの選択肢と可能性があることを示したいと考えます。そして、保護者の方が問題に直面した時、一人で抱え込まずに相談したいと思ってもらえるような存在になりたいと思います。これらの目標実現のために、何事にも臆せず挑戦していきます。

「保育実習Ⅰ」を終えて



保育学科2年 渡辺 瑠生
私たちは、1月末から20日間、施設と保育所で実習

をさせていただきました。初めての实習で、とても緊張していましたが、施設職員の方や入所の方が優しく話しかけてくださり、緊張がほぐれました。施設実習を通して、入所者の方一人ひとりに特性があり、その方に合った支援をすることが大切であることを学びました。

保育所実習では、元氣な子どもたちのおかげで徐々に打ち解けることができ、楽しみながら実習に取り組みることができました。外遊びの時には、子どもたちの怪我を未然に防ぐために、全体を見る人と個々を見る人に役割分担し、連携しながら見守ることが重要であるということ学びました。

実習を終えて多くのことを学び、新しい課題も見つかりました。今後の授業や実習を通して乗り越えていきたいです。

高松短期大学

秘書科

2年後の私



秘書科1年 清谷 美紅
私の目標は、将来の夢を叶え、高松短期大学に入学してよかったです

私は新年度のオリエンテーションで様々な検定を受けることを知り、今までの勉強方法では、すべての検定に合格することは難しいと感じました。計画的に勉強を進めるのはもちろん、秘書科で教わる知識を自分のものにし、2年後には社会人になるという自覚をもって時間を無駄にしないようにがんばっていきたくです。また、勉強以外の活動にも積極的に参加し、たくさんの人とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思っています。

常に目標を持ち、目の前の一つひとつの出来事を丁寧に扱い、社会に出て恥ずかしくないような人間になれるように努力します。短大での貴重な経験や体験を通して、これから2年後、どのように自分が成長できるのかとても楽しみです。

就活準備の総まとめ



秘書科2年 寶田 ゆい
秘書科では、1年生の2月に就職活動に向けた行事を

3つ実施します。今回は、その中の春期セミナーと卒業生懇談会について述べます。

まず、春期セミナーでは、集団と個人の面接練習を行います。私は、個人面接の指導で先生から「いや」を多用しているところの指摘をいただき、今後は「いえ」を使うよう気をつけたいと思いました。また、歩き方の確認では、面接官にキビキビとした印象を与えるように、いつもより少し早めに自然に前を向いて歩けば良いと分かりました。

次に、卒業生懇談会では、就職先の決め方や面接の雰囲気、面接で質問された内容などができ、大変参考になりました。会社や医療機関で活躍している先輩の姿を間近で拝見し、憧れを抱くとともに、就職活動に向けて身の引き締まる思いになりました。

探訪/研究室

秘書科 西岡 達哉

自己紹介



現代人の生活様式や現代社会の成り立ちなどの過程が知りたいと考え、考古

学を研究しています。特に興味関心が強いテーマは原始・古代人と動植物などの自然とのかかわり方です。

学生へ一言

もっと身の回りの自然現象に敏感になってください。人間は原始のころから、四季の変化に応じた生活方法や遊び方を工夫してきました。人間ならではの感性を磨き続けてもらいたいです。

二十歳の時の自分

恥ずかしながらいよいよ加減な生き方をしていました。ちょうど考古学の勉強が嫌になつたところで、終日映画館に籠っていたこともありました。本気で芸能の世界に飛び込もうと考えていました。

令和4年度
満足度アンケート結果報告

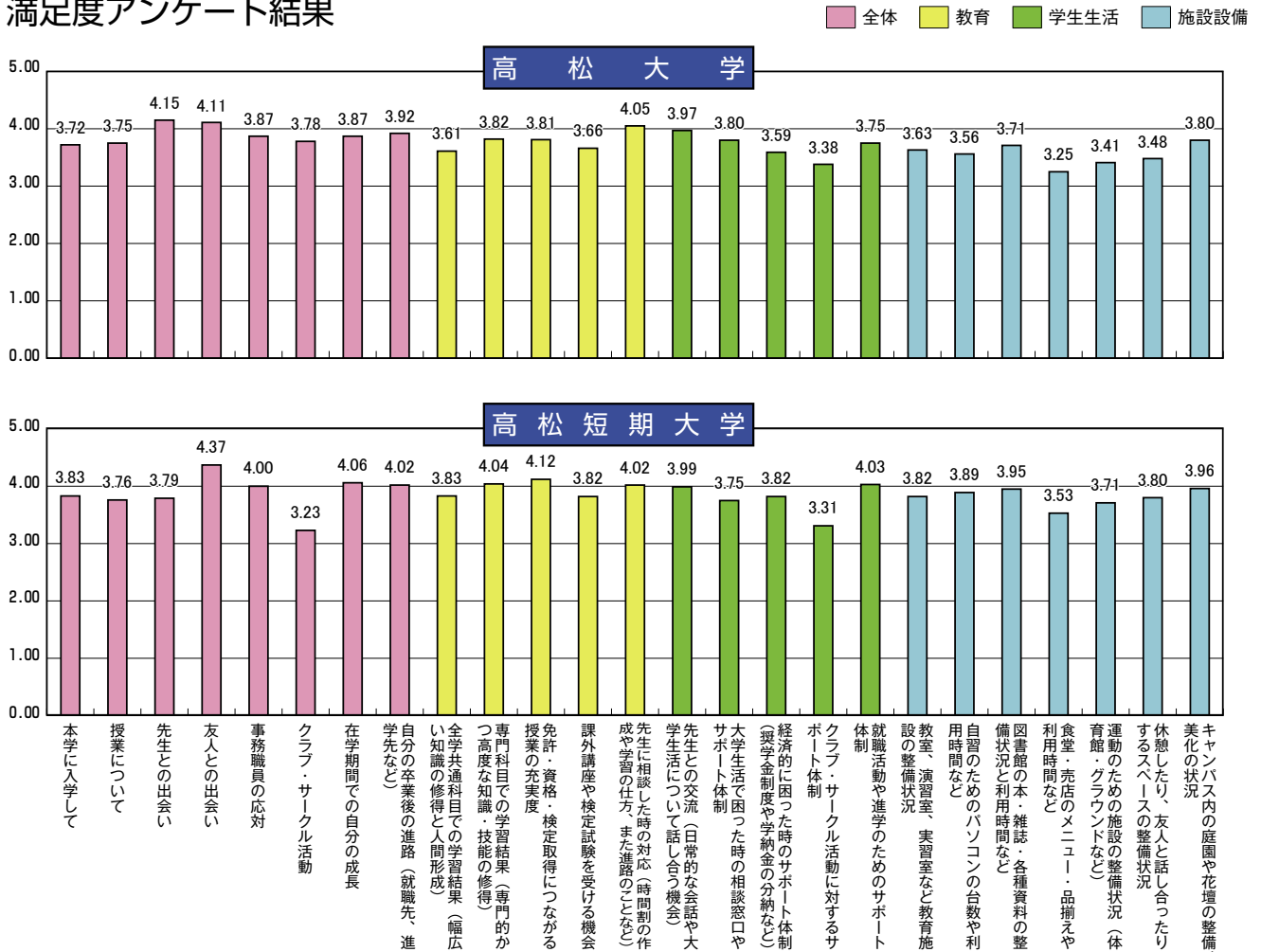
学生の在学期間内の満足度を調査することにより、教育支援と施設整備の状況を把握し、今後の教育改善に役立てることを目的に、大学は4年生、短大と大学院は2年生を対象に満足度アンケートを実施している。

大学・短大ともに、「友人との出会い」「先生との出会い」「先生に相談した時の対応」「先生との交流」など、人との出会いに関する項目が高い評価値であった。また、キャンパス内の整備や美化状況も評価が高かった。

記述でも、「同じ目標で頑張る友人ができた」「先生と出会えてよかった」等、人との出会いに関する良い意見が多く記されていたが、施設の利用方法や食堂・売店への要望も少なくなかった。

コロナ禍での制限も緩和していく中、これらの要望については引き続き対応していく必要がある。具体的な対応策の検討を進め、学生のための大学づくりにより一層力を入れていく。

満足度アンケート結果



【評価方法の説明】

- アンケートの回答方法は、「全く満足でない」「あまり満足でない」「どちらともいえない」「かなり満足」「非常に満足」の5段階で、評価値は1～5とした。
- 集計方法は、5段階評価値を平均し、その項目の評価値とした。

保護者教育懇談会ご案内

【日時】 令和5年9月23日(土・祝) 9時～12時
 【会場】 高松大学・高松短期大学
 ゼミナール・研究室担当教員が、日頃の学生生活や修学状況、就職活動状況等について個別懇談を行うほか、学生生活や就職相談コーナーも設けます。詳細は、後日郵便でご案内いたします。
 <お問い合わせ先>
 学生支援部学生課 087-841-0864

人事異動

採用(令和5年4月1日付)
 【大学】経営学部助教・林一慶
 退職(令和5年3月31日付)
 【大学】経営学部教授・ウイリアムズ R T▽同准教授・森享子
 ▽発達科学部教授・七條正典▽秘書科准教授・藤井雄三



経営学部助教 林 一慶

①情報学(数理データサイエンスと未来、数理データサイエンス基礎、情報基礎、情報基礎演習、地域連携活動Ⅰ・Ⅱ、基礎演習Ⅰ・Ⅱ)
 ②大学3年時にゼロ、メイドラゴン、ヒロアカを見てからアニメが好きになりました。話しかけてもらえれば他にもお勧めすることができます。

新任教員のプロフィール

- ①専門分野(授業科目)
- ②自己紹介

西安外事学院理事長 御一行が本学を訪問



3月14日、日本における幼稚園教育の現状を視察すること



方針等について説明し、発達科学部や経営学や経営学への留学生の受け入れ、幼児

を主な目的に、本学と学術交流協定を締結している中国の西安外事学院の黄藤理事長ほか8名が来学した。
本学からは、佃学長、中塚高松東幼稚園長、澤田大学副学長、末包経営学部長、松原発達科学部長、稲井学生課長（留学生担当）が会談に出席し、本学がこれまで受け入れた留学生の状況や発達科学部の教育



卒業生の同窓の同窓

「高松教養大学」の卒業証書授与式が、3月29日に本学多目的ホールで行われた。佃学長から第7期生23名それぞれに卒業証書が手渡され、卒業生代表の木村泰英さんが大学祭に出店したフリーマーケットでの苦労話や、コロナ禍で人とのふれあいを基本的に避けなければならぬ学園生活での、新しい発見や

教育に関する共同研究等について活発な意見交換を行った。3月15日の会談には、佃学長、中塚高松東幼稚園長、稲井学生課長（留学生担当）が出席し、認定こども園高松東幼稚園の運営状況を説明し、保育現場を見学した。

「高松教養大学」 卒業証書授与式 および入学式挙行



さんが入学許可書を受け取った。この活動が期待される。



ハンドボール部 中四国リーグ戦で優勝

4月24日から28日までギリ

認定こども園高松東幼稚園ニュース

年長さんと新入園児だけの世界



今年も年少組の入園式は2回に分けて行われました。新入園児93名、式の途中歩いたり、お母さんに抱かれてぐずったりと静と動が入り混じったにぎやかな式でした。式も終わりに近づき在園児の祝辞の式次第に移りました。するとどうでしょう、年長さんが壇上に上がると会場は水を打った

ように静かになり、先ほどのぐずりはびたりと止んで3歳児さんは一斉に5歳児さんに注目しました。

「おめでとうございます…。わからないことがあったら何でも聞いてください…。」という言葉に始まり園歌で歓迎、軽やかなスキップで退場。

その間、不思議な世界を見ました。3歳と5歳に通じる世界があるように思いました。

5歳児さんありがとう。これからも幼稚園のリーダーとしてよろしく願いいたします。

(園長 中塚 勝俊)



春季リーグ戦で、高松大学ハンドボール部が4戦全勝で1部優勝を飾った。今大会の最優秀選手賞を島袋翔さん（経営学部4年）が

受賞。ベストセブンに大當拓巳さん（経営学部4年）、福留栄太郎さん（経営学部4年）、大田有宇聖さん（経営学部1年）が選ばれた。

令和5年度入学式挙行

4月2日、令和5年度入学式を本学体育館で挙行了。今年度も式場への入場を入学生と教職員に限定したが、保護者には学内の別室でライブ配信を視聴していただいた。

佃学長は、世界で初めてハマチの養殖を成し遂げ、「養殖漁業の父」と呼ばれた野網和二郎を紹介し、「和二郎のようにクリエイティブな発想とチャレンジ精神を持ち、日々の生活を大切にして夢を形にするために学業に励んでいただきたい」と新入生を激励した。



新入生を代表して、三好優芽さん（大学発達科学部）と清谷美紅さん（短期大学秘書

キラリ☆輝く人

レクリエーション・インストラクターの資格を取得



保育学科2年
碓井 美紅さん

レクリエーション・インストラクターとは、幅広い現場で目的に合わせてレクリエーション活動を企画・展開できる指導者のこと。令和4年度、石田佳二先生の授業「子どもと健康（運動遊び）」をきっかけにその資格を知り、インストラクター養成講座を受講して取得した。碓井さんは、「コミュニケーション能力やレク技能を伸ばすために資格を取った。レクリエーションを通して、保育の世界だけでなく、障がいのある方や高齢者の施設などで、多くの方に楽しんでもらえる場を提供していきたい。」と抱負を語ってくれた。



参加した学生には、児童との交流や引率の先生方との交流により、表現力やコミュニケーション力を高め、児童との

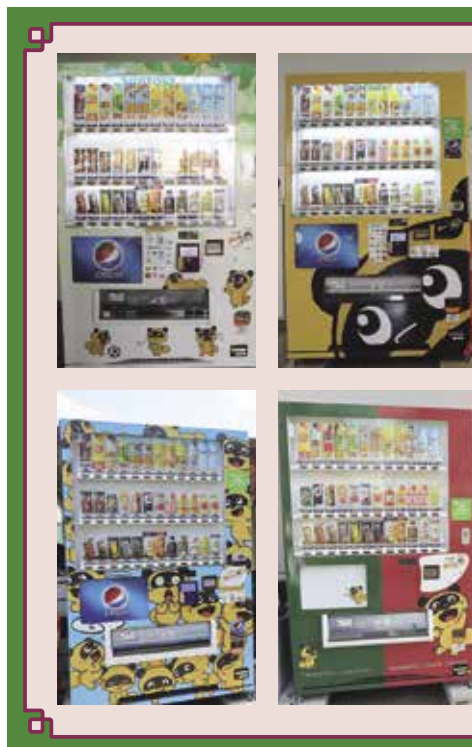
古高松南小学校3年生が「高松大学」を体験

高松市立古高松南小学校3年生の児童122名が、春の校外学習で本学を訪れた。

学びの体験として、発達科学部の佐々木准教授が、「図工教室」を開講し、学生が補助を行った。また、児童教育コースと特別支援教育コースの学生が、「大型の絵本や紙芝居の読み聞かせ」を行い、児童との交流を深めた。



「たーちゃん」をラッピングした自動販売機が学内に設置されました。本館、学生会館、体育館、テニスコートに各1台で、それぞれデザインが違います。3月に誕生20周年を迎えた「たーちゃん」は、ますます活躍の場を広げています。



接し方を学ぶ良い体験となった。笑顔で手を振って本学を後にした児童たちにとっても楽しい体験となったことを願っている。

「たーちゃんクーポン」支給事業

独立行政法人日本学生支援機構の「物価高に対する経済対策支援事業」による支援金を活用し、本学学生1人あたり2000円分の「たーちゃんクーポン」を支給しています。「たーちゃんクーポン」は、学生会館1階たーちゃんキッ

チン、2階売店において、学生生活を送るための食費や修学に必要な文房具、教材等を買うための金券として、8月4日まで使用可能です。どうぞご利用ください。

編集後記

☆本号では、新入生のみならず、入学後の抱負を語っていただきました。みなさんの活躍は私たち教職員の励みになります。どうか今後の気持ちを忘れず、目標に向かって頑張ってください。